

2023年度

学校自己評価報告書

学校法人浅ノ川学園
金沢看護専門学校

1. 学校の教育目標

本校は、教育基本法及び学校教育法並びに保健師助産師看護師法の本旨に則り、看護師としての必要な知識・技術及び態度を習得させ、社会に貢献し得る有能な人材を育成するための専門教育を行うことを目的としています。

2. 2023年度に定めた重点的に取り組むべき目標と結果報告

【看護学科の目標】

- ①入学定員充足率 100%を目指す。
- ②国家試験合格率 100%を目指す。
- ③教員の教育力向上につながる研修への積極的に参加する。

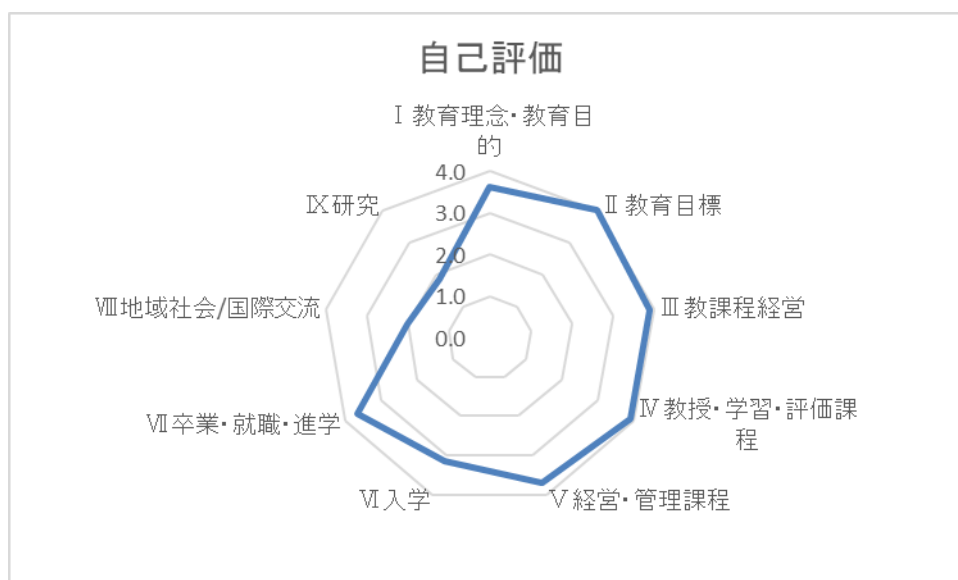
【各目標に対する具体的な手立てと報告】

- ①入学定員充足率 100%を目指す。
 - 1) 石川県内に限らず、富山県の高等学校に本校の特色を知っていただくため、学校訪問や学校紹介に繋がるイベント等に参加した。
 - 2) オープンキャンパスの実施回数を年3回にし、イベント参加により入学志願者への直接アピールをしたこともあり、本年度の入学定員充足率 102%とした。
- ②国家試験合格率 100%を目指す。
 - 1) 看護師国家試験合格率 88%
 - 2) 国試対策委員会を設置し国試対策計画を立案した。模擬試験の活用、内・外部講師による国試対策講座、学習状況の把握をし、必要に応じて個別にアドバイスやサポート行うことなどの国家試験対策を実施した。
- ③教員の教育力向上につながる研修への積極的に参加する。
 - 1) 今年度も各教員が学会などに参加し、資料の共有、教務会議で報告するなどし、教員全体の教育力 向上に努めた。しかし、参加回数は少なかった。

3. 評価項目の達成状況及び取り組み目標や計画について

* 自己評価点は以下のとおりである。

適切・・・4、 ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、 不適切・・・1



I 教育理念・教育目的 【3.6】

教育理念は、社会に貢献できる看護師の育成を目的に、人間愛に基づく生命を尊重する心、科学的思考に基づく看護の実践力、専門職としての自己の責務を自覚し、社会の変化に対応できる看護師を育成することを目標としている。とくに専門職業人を目指す者としての自覚を持ち、自ら学び続ける基礎的能力を養うことに尽力している。

学校の教育理念・目的・教育目標・育成人材像などは実習指導者会議等で説明し共有を図っている。在校生には式典、ホームルーム、高校生には進学ガイダンスやオープンキャンパス、保護者には式典、就職説明会などで説明し理解を得るようにしている。

医療法人グループ内の看護管理者会議、また看護協会の施設長会議等で看護学生の現状報告、学生へのニーズに関する情報交換などを行い、教職員の会議で情報を共有し必要な点については検討している。

II 教育目標 【4.0】

教育目標について教員が認識し学校運営ができるよう、運営会議、職員会議にて必要事項について討議し、決定事項については共有している。教育目標は教育理念・目標と一貫しており、具体的で実現可能なものとなっている。

III 教育課程経営 【3.9】

教育理念・目標にあった科目を設定し、学校の特色を盛り込むようにしている。科目の配列は教育理念と目標にあった順序性で配列をしている。他の高等教育機関と単位互換が可能な体制を整えている。

効果的な教育方法について検討の場を持ち、定期的に教務会議を開催し情報の共有・意見交換をしている。教員間の講義・実習担当時間の配分はほぼ均等で、授業準備に関する時間が保障されている。

臨地実習指導における学生の学びを保障するために、実習科目に見合った施設を確保し、臨地実習指導者と教員がそれぞれの役割を明確にし協力している。

IV 教授・学習・評価課程 【3.9】

授業は授業計画に基づいて実施され、授業内容のまともりは、看護学の教育内容として妥当性があり、履修形態（講義、実習）は授業内容のまともりに応じたものとなっている。科目ごとの授業内容を整理し、担当者へ周知している。教員は授業終了時に学生による評価を行っている。評価方法については学生に公表している。

年度初めにカリキュラムガイダンスを行い、シラバスの活用について学生に説明を行っている。

評価の方法は試験・出席・学習状況・レポートにより行われている。評価結果を活用し実際に授業の改善等の参考になっている。

V 経営・管理課程 【3.7】

学生生活や教職員の職務が円滑に遂行できるよう、運営会議、教務会議を定期的で開催しその都度、整備するようにしている。

奨学金制度について学生に説明会や掲示等で周知し、学則にも明示している。日本学生支援機構や石川県の修学支援新制度などさまざまな支援を受けている学生がいる。

広報活動はオープンキャンパスの開催や個別相談会の実施、高校訪問やイベント等に積極的に参加するようにしている。

定期的に自己点検・自己評価を行い教育理念、目的、目標を維持・改善に心がけている。

予算主義に則った運営に努めており、会計監査は監事により適切に行われている。財務書類はホームページに掲載している。

VI 入学 【3.1】

教育理念・目標を反映した学生募集方針を定めている。募集要項を作成し各高校に配付したり、インターネットや情報誌に入学選抜方法などの情報提供をしている。入学試験委員会を定期的で開催し、多様な選抜方法と学生の状況について検討し、今年度より指定校推薦の実施を試みた。

VII 卒業・就職・進学 【3.7】

卒業生の95%以上は看護職として就職している。浅ノ川病院グループ内への就職率は55%、県内県外施設への就職率は24%であり、今年度進学する学生1名であった。

成績低迷者は担任の面談を行い、学習方法、悩み不安等に耳を傾け必要時アドバイスを行っている。成績低迷者、学習態度等に問題がある学生に関して、保護者と連絡をとり、面談、学生の指導を行っている。

卒業生の資格取得情報を得、講師として招聘している。

進路・就職に関しては1年次から毎年就職説明会を開催し、適性を踏まえ、相談・支援を実施している。

卒業生で国家試験不合格者に関しては国試対策などでサポートしている。

VIII 地域社会/国際交流 【2.0】

近隣施設や地域の行事等で施設利用がなされている。

地域の特徴を把握した教育活動を積極的に取り入れていくことが今後の課題である。

IX 研究 【1.9】

研究に必要な設備・機器を計画的に整備し、研究費については研究計画を立案し、助成金の申請をしている。研究・研究に関する年間予算計画が設定されている。

教員が研修に参加できるようにシステム作りをし、自主的に年1回以上の研修に参加できるようにしている。